







SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 2 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
社名である「スマートブルー」＝「持続可能な地球」の実現に向け未来への挑戦を続け、その実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
静岡県の地方創生を実現する。そのために、若者が静岡に戻ってくる、大都市の企業が新たに静岡に拠点を作るなど、県への移住者が増えるためのアイデアをビジネスへと展開する。まず、持続可能で未来のある元気な中小企業を増やし魅力的な働く場を作り出す。再生可能エネルギーを主軸にしたエネルギーマネジメントコンサルティング、DXやSDGs教育を通じた若者が働きたくなるような遣り甲斐の醸成、安心して働ける環境作りとしてBCPの策定などのトータルコンサルティングを県内企業に提供していく。同時に本業である再生可能エネルギーと農業の発展に貢献する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	新たなモデル圃場を3棟建設する。新規就農者を雇い入れて、新規農業参入企業を協力して運営体制を築く。	モデル圃場1棟を建設。農福連携モデルとして多くの方に見学に来ていただけたが、新規企業との連携運営体制には至らなかった。	農福連携圃場を2棟建設する。自社運営による農業実績の確立と、農業への新規参入企業と連携した運営体制を構築する。
	セールスフォース(RPAソフト)のカスタマイズが行える技術者を各部署に育てる。3部署で3名。	業務に必要なカスタマイズは全社員に徐々に浸透。IT専門部署を中心に、各部署1名以上、計4名が技術者として業務への活用を推進している。	業務に関わる知識を深めるための研修を月2回実施する。知識や経験の多い従業員を講師として、経験の浅い従業員10名以上を集め、持続可能な知識を普及させる。
	女性の組織リーダーを1名以上誕生させる。	主任1名、アマーバ組織を採用し、アマーバリーダーとして女性を2名登用した。	女性の役職者候補を1名以上育成する。
	国が推進する第三者保有型PPA事業の事例を3件以上実現する。	新型コロナウイルスの影響により、営業活動が制限され、実績は0件。	社内全拠点の使用電力の100%を、再生可能エネルギー由来の電力に切り替える。
	選択理論心理学を応用したプロスペクター試験に合格する人材を1名以上社内から排出し、ただ仕事をする以上の人としての喜びを社内に分ち合える文化醸成に貢献する。	選択理論心理学を応用したプロスペクター試験合格者を1名排出。社内研修、社内式典等で講和を行い、会社文化の醸成を推進した。	選択理論心理学を応用したプロスペクター取得者に、継続して社内研修や、社内式典等で講和いただく機会を年3回以上設け、会社文化の醸成を推進する。
	県内企業に再生可能エネルギーへの切り替えと自家消費型太陽光発電設備の導入を普及啓蒙し、年間で30件以上の企業に再エネ100化宣言のサポートする。	新型コロナウイルスの影響により、活動が制限され、再エネ100化宣言の実績は3社。	県内企業に再生可能エネルギーへの切り替えと自家消費型太陽光発電設備の導入を普及啓蒙し、年間で5件以上の企業に再エネ100化宣言のサポートする。

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	スマートブルー株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	3 事業所
2	業 種	2. 建設業	
3	従業員（構成員）数	56 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	塩原太郎
5	所 在 地	〒 421-1212	
		静岡市葵区千代2丁目17-23	
6	ホームページURL	https://smartblue.co.jp/	